

たべものカフェ ってなに？

～みんなで知ろう学生の実態～





はじめに

まず、はじめにこの冊子を手にとって下さりありがとうございます。
この冊子が何かしらの理由やきっかけであなたの目にとまってくれたこと、
とても嬉しく思います。

現在静岡県立大学で2週間に1回のペースで開催している「たべものカフェ」

そしてサブタイトルにある「学生の実態」。

この2つのことがどのように関係しているのか、

そして県大ではどのような状況なのか…

今は身近な問題として感じる事が難しいかもしれません。

ですが、現実として当たり前前の生活が送れていない学生がいます。

困っている人がいます。

「誰も置き去りにしない」

このような環境が必要だと強く思います。

この冊子がひとりでも多くの方の手に渡り、ひとりでも多くの学生が
当たり前前の生活を当たり前前に送れるようになることを心から願っています。

静岡県立大学学生ボランティアセンター



発行日: 2022年3月1日

目次

- たべものカフェとは……………4
- たべものカフェに関わる組織……………4～5
 - 緊急支援プロジェクト……………4
 - 学生ボランティアセンター……………5
 - 学生助けたいんじゃー……………5
- はばたき棟たべものカフェ……………6～10
 - たべものカフェ運営方法……………6
 - 配布している食べ物……………7
 - たべものカフェヒアリングシート……………8
 - はばたき棟たべものカフェ利用者の声……………9～10
- 宅配たべものカフェ……………11～13
 - 宅配たべものカフェのデータ……………12
 - 宅配たべものカフェ利用者の声……………13
- 静岡県立大学教職員からのコメント……………14～17
 - 寄付してくださった方々から……………14～15
 - 緊急支援プロジェクトから……………16～17
- わたしたちからの提案……………18
- 活動を通して考えたこと……………19～20
 - 学生助けたいんじゃーから……………19
 - 学生ボランティアセンターから……………20

たべものカフェとは

たべものカフェとは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で**経済的・精神的な負担**がかかった学生に向けて、**食料支援とヒアリング**を行うものです。**緊急支援プロジェクト**の一環として2020年7月から始まりました。運営は静岡県立大学学生ボランティアセンターが行っています。

食料は2週間分を1人ずつに配布しています。ヒアリングでは学生の近況をお聞きしたり、雑談も交えています。カフェのような**温かい雰囲気**を目指して、現在も2週間に1回開催しています。



場所は静岡県立大学草薙キャンパスのはばたき棟、小鹿キャンパスです。学生ボランティアセンターは、はばたき棟たべものカフェの運営をしています。小鹿は教職員の方が中心となって行われています。

たべものカフェに関わる組織 緊急支援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の拡大によって影響を受けた学生を支援することを目的として、2020年に有志の教員が集まって作られたプロジェクトです。主なメンバーは、短期大学部の中澤秀一先生、国際関係学部の小針進先生、経営情報学部の木村綾先生、そして、国際関係学部の津富宏先生です。活動は、**学生の生活実態調査、たべものカフェ（食料給付をきっかけとする個別支援の提供）、公式LINEの運営による個別相談**です。「緊急」支援プロジェクトとして始まりましたが、活動を通じて、学内には**もともと脆弱な学生が存在している**ことが明らかとなってきたことから、学生の**貧困そのもの**に取組み、**学業の継続保障**を目指します。

学生ボランティアセンター

学生ボランティアセンターは、「頼り頼られる関係を社会の中にたくさんつくります」というミッションのもと、学生へのボランティア促進・紹介、社会貢献系団体の繋がりづくりと、ボランティア活動を通じた居場所づくりを目的に2020年から委員会として活動しています。



主な活動内容はたべものカフェの運営、1dayボランティアとしてのゴミ拾い、社会貢献系団体同士での横の繋がりを作る春夏の団体フォーラムなどを開催しています。現在は3年生1名、2年生6名、1年生2名の計9名で活動しています。

学生助けたいんじゃー



誰も置き去りにしない
社会を目指して！

学生助けたいんじゃーは2021年8月から活動を始めたチームです。津富先生からのお声かけのもと集まった様々な学部の県大生8名で構成されています。静岡県立大学以外に静岡大学や山形大学の先生方にもご協力頂きながら、**学生の貧困の実態把握や情報発信**を行っています。まず、困りごとを抱える学生にお金に関すること、心身のこと、学校・生活のことという観点からインタビューを行っています。現時点では、のべ74名にご協力頂きました。

情報発信としては、Twitter、県議会議員との交流会への参加、学校関係者が集まる静岡県教育の集いで取り組みの紹介をしてきました。今後は県議員の方と協力しながら、具体的な支援や制度の確立に取り組む予定です。

たべものカフェ運営方法

～はばたき棟たべものカフェ～

<学生ボランティアセンターの動き>

学生室に学内メールで申し込みメールを流してもらう

- 注文票をスーパー・アンドウに届けに行く
- 当日、アンドウに食材を受け取りに行く
- はばたき棟に必要な道具の準備をする
- はばたき棟に食材を搬入する
- 出納室の方による検収
(食べ物の個数が合っているか確認)
- 食材を1人分ずつ袋に詰めていく
- 手が空いた人が次回の購入リストや
請求書・見積書を作成する

12:20～ 食べ物を受け取る人が来始める

<受け取る人が来たときの対応>

- 受付にて名前の確認
- ヒアリングシートを渡し、記入してもらう
- ヒアリングを行う
- 食べ物を渡す
- 受付で食べ物を受け取ったことを確認

18:30 たべものカフェ終了

- 余った食材やその他道具の整理・片付け
- ヒアリングシートを見て支援が必要だと
感じた人を津富先生に報告

<受け取りに来た人の動き>

学内メールのGoogleフォームより申し込み

- 当日、はばたき棟に来る
- 受付にて名前の確認
- ヒアリングシート記入
- ヒアリングを受ける
- 食べ物を受け取る
- 時間がある人は一緒にボランティア
- 受付で食べ物を受け取ったことを確認



↑ボランティアの人と配布準備をしている様子

ボランティアに来てくれる人もいて、おしゃべりしながら楽しんでいます！

ふらっと「申し込んではないけど来ちゃった！」と遊びに来てくれる人もいます～！

新型コロナウイルスの状況によっては、ヒアリングをzoomで行うこともあります

配布している食べ物

学生の健康を考え、タンパク質やビタミン、糖質をバランスよく摂取できるように食材を選んでいきます。

人参
玉ねぎ
じゃがいも
キャベツ
りんご
バナナ



食パン
パスタ
パックごはん
レトルト食品
缶詰
肉



卵
チーズ
納豆
ヨーグルト
豆腐など…



静岡市指定家庭用ごみ袋にこれらを詰めて配布しています。利用する方の食べたい食材や、季節によって配布する食材を変えています。

たべものカフェヒアリングシート

現在、この2種類のヒアリングシートに沿って学生の暮らしぶりを把握しています。

簡易版

たべものカフェに1回以上来たことのある学生に書いてもらいます。

食糧支援だけではなく悩み事を聞くことで心のケアも！

学生の希望にそった食糧支援！

アルバイトや奨学金、交通費など金銭面に関してより具体的に聞く

生活必需品で負担になっているものを聞く他、どのような支援が必要かを把握

たべものカフェ利用者シート

学籍番号	実曜日	月	日	性別	男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	学部
ふりがな 氏名	記入時間 電話番号	時 分		学部等	()	学科 ()
お住まい	<input type="checkbox"/> 実家・親元 <input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 友人宅 <input type="checkbox"/> ルームシェア <input type="checkbox"/> その他 ()	学年	()	年	()	年
金銭面について	<input type="checkbox"/> 交通費 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> 日用品 <input type="checkbox"/> 学費 <input type="checkbox"/> 学費 (基本的な部分)	必要収入	円	現在の収入	円	
体調について	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 良好ではない	食事について	<input type="checkbox"/> 1日3食 食べている <input type="checkbox"/> 1日2食 食べている	<input type="checkbox"/> 1日1食 食べている <input type="checkbox"/> その他 ()		
食事内容について	<input type="checkbox"/> 野菜・果物を取れている <input type="checkbox"/> 食べていない (なかなか取れない)	栄養バランスについて	<input type="checkbox"/> 栄養バランスが揃っている <input type="checkbox"/> それなりに取れている	何が一番取れていませんか？ ()		
睡眠時間	<input type="checkbox"/> 6時間以下 <input type="checkbox"/> 6-7時間 <input type="checkbox"/> 8時間以上	睡眠について	<input type="checkbox"/> ぐっすり寝れている <input type="checkbox"/> 寝れていない <input type="checkbox"/> 寝たのに寝た感じがしない			
人間関係の悩みごと	<input type="checkbox"/> 家族関係 <input type="checkbox"/> 友人・交際相手 <input type="checkbox"/> 大学関係 <input type="checkbox"/> バイト先 <input type="checkbox"/> 特に悩みはない	学業面の悩み	<input type="checkbox"/> 授業内容 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 課題 <input type="checkbox"/> 授業進捗 <input type="checkbox"/> 進路	アルバイトに 関する悩み について	<input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日	インターネット代 なし
なんでも悩み事 (自由にお書きください！)						
緊急支援プロジェクトは、アルバイト探し、体調、気持ちのことなど、お話を伺い、解決するプロジェクトです。相談を希望する方は、教えてください。秘密は守ります。 食べたい食材があれば教えてください		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない				
ヒアリング担当者 (お話を聞いたスタッフは名前を書いてね！)						

食事の内容も把握しよりバランスの良い食料の提供！

助けたいんじャー版

たべものカフェ利用者シート

学籍番号	実曜日	月	日	性別	男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	学部
ふりがな 氏名	記入時間 電話番号	時 分		学部等	()	学科 ()
お住まい	<input type="checkbox"/> 実家・親元 <input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 友人宅 <input type="checkbox"/> ルームシェア <input type="checkbox"/> その他 ()	学年	()	年	()	年
金銭面について	<input type="checkbox"/> 交通費 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> 日用品 <input type="checkbox"/> 学費 <input type="checkbox"/> 学費 (基本的な部分)	必要収入	円	現在の収入	円	
体調について	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 良好ではない	食事について	<input type="checkbox"/> 1日3食 食べている <input type="checkbox"/> 1日2食 食べている	<input type="checkbox"/> 1日1食 食べている <input type="checkbox"/> その他 ()		
食事内容について	<input type="checkbox"/> 野菜・果物を取れている <input type="checkbox"/> 食べていない (なかなか取れない)	栄養バランスについて	<input type="checkbox"/> 栄養バランスが揃っている <input type="checkbox"/> それなりに取れている	何が一番取れていませんか？ ()		
睡眠時間	<input type="checkbox"/> 6時間以下 <input type="checkbox"/> 6-7時間 <input type="checkbox"/> 8時間以上	睡眠について	<input type="checkbox"/> ぐっすり寝れている <input type="checkbox"/> 寝れていない <input type="checkbox"/> 寝たのに寝た感じがしない			
人間関係の悩みごと	<input type="checkbox"/> 家族関係 <input type="checkbox"/> 友人・交際相手 <input type="checkbox"/> 大学関係 <input type="checkbox"/> バイト先 <input type="checkbox"/> 特に悩みはない	学業面の悩み	<input type="checkbox"/> 授業内容 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 課題 <input type="checkbox"/> 授業進捗 <input type="checkbox"/> 進路 <input type="checkbox"/> ない	アルバイトに 関する悩み について	<input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日 実習 <input type="checkbox"/> 水曜日	インターネット代 なし
悩み事を相談できる場所がありますか？ 学内にありますか？ 学外にありますか？ どこかを知っていますか？		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 聞かない <input type="checkbox"/> 聞かない				
相談は楽しめていますか？	<input type="checkbox"/> 楽しんでいる！ <input type="checkbox"/> そうでもないかも。	相談を希望する方は、教えてください。秘密は守ります。	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない			
なんでも悩み事 (自由にお書きください！)						
緊急支援プロジェクトは、アルバイト探し、体調、気持ちのことなど、お話を伺い、解決するプロジェクトです。相談を希望する方は、教えてください。秘密は守ります。 食べたい食材があれば教えてください		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない				
話を聞いたスタッフの名前						
いつかお話をしたいと思っていますか？ お名前、お電話、LINEなどお話しできる手段があれば教えてください						

たべものカフェに初めて来る学生に書いてもらいます。助けたいんじャーが行うインタビューに繋げるために、細かく学生の現状を把握します。

友好関係や相談相手の有無など理由も含めて聞き、居場所づくりに取り組む

はばたき棟たべものカフェ 利用者の声

就活が一番の不安なことで県外を考えているが、県境を跨いだ移動が制限されているためインターンもできず不安。キャリア支援センターでも相談している。

途中で起きてしまい朝まで続けて寝られない。

2月まで実習があるため、半年バイト禁止で収入が今までより少なくなり貯金を切り崩して生活している。バイトはこれから4年生や社員が多く抜けるため、3年生が上になると人手不足にもなり、責任も重くなり不安…



1、2年のうちに稼いでおこうと思っていた人はコロナで苦しいですね。切り崩す貯金も無くなってしまいました。

実習先での先生の関係、友達に会えないこと、研究室をどうするのか悩む。

課題と卒論と就活の両立がきつい。

実習の交通費の助成金が欲しい。2週間1万円超えた分のみしかもらえない。

9800円だと助成金がでない。負担。小鹿へ定期を買っても良いかと聞いたが、定期は助成金の対象にならないらしい。安くもできず、負担が多い。特に看護学部の人はずらいはず。

実習の終わる時間が確定されていないため、バイトを入れることができない。バイトは土日のみになってしまう。

研究室の先生がバイトや家庭環境への理解がなくてつらい。時間が決められているのでその前に抜けにくい。先生に攻撃的なことも言われる。同じ研究室の友達に気遣ってもらってる。バイトは時短で、奨学金でまかなう。

忙しくて野菜や果物を買に行けず、行けたとしても野菜が高い。栄養バランスに偏りがあり、ビタミンが特にとれていない。研究室や就活など先が不安。

スーパーに行く時間がない。バイト帰りにスーパーに行きたくてもしつてつストアが9時でしまっている。

コロナによりバイトはゼロになった。

野菜が取れておらず栄養バランスが崩れている。

午後1食・晩に少ししか食べていない。

試験期間でアルバイトに中々行けず、給料が入らない。

バイトは本来3つ掛け持ちしていたが、実習のためバイト禁止。家賃・ガス・水道代・携帯代を、学校の給付金と授業料免除でどうにかしている。

野菜は時期によって値段が変わるため、特に買いに行けない。普段は安く簡単に食べられるものしか食べていない。



野菜と果物が食べれていない。

研究室・実験が忙しすぎて時間がないため睡眠時間が減る。

学校の実習が忙しく、インターンなどに行く時間がない。バイトも週1。学業面においては課題に悩んでおり、レポートの締め切りが重なってやることが多い

バイトの営業時間が短縮し、少し収入が厳しい。

水道代とガス代の削減のため、湯舟には浸からず冬でも入浴はシャワーのみですましている。

宅配たべものカフェ

11月から1か月に2回ペースで「ふじのくにフードバンク」様と連携して宅配のたべものカフェを開始しました！

<なぜ宅配をはじめたの？>



(帰校日の水曜日以外、ずっと病院実習だから)
実習が忙しくて、食材を受け取るために学校に来ることが出来ない…

コロナの感染が怖くて学校にいけない…



このような「食べ物を受け取りたいけど、学校に来るのが難しい」という学生の思いに答えるため、宅配のたべものカフェを開始

<宅配のたべものカフェの流れ>

- ① **学生**：たべものカフェのGoogleフォームに申し込む
- ② **津富先生**：ふじのくにフードバンク様へ申し込み情報の共有
学生へ受付メールを送信
- ③ **フードバンク**：食材を発送
- ④ **学生**：受付メールに添付されたGoogleフォームへの記入
- ※このGoogleフォームに困りごとや生活のことについて記入して頂きます。
- ⑤ **ボラセン**：Googleフォームの内容確認
その後、津富先生と相談し、困っている人や支援が必要な人に連絡をとる

このように缶や乾麺などの加工食品中心に
フードバンクに集まった食材を頂いています！

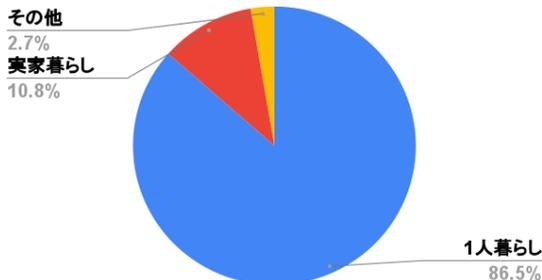


宅配たべものカフェのデータ

2022年1月後半に実施した宅配たべものカフェ（申込人数：38人）のアンケート結果を一部抜粋したものです。

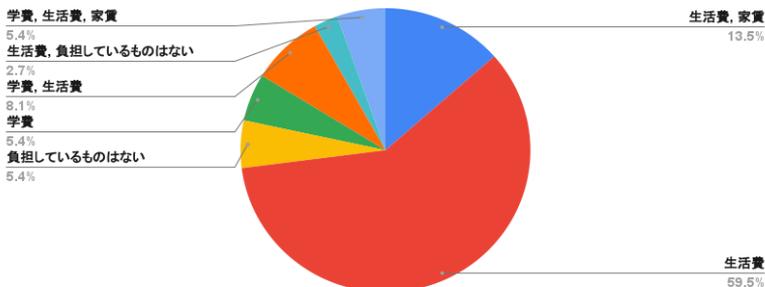
住まいについて

宅配利用者の8割以上が一人暮らしの学生です。家族の収入減少などの理由で、実家暮らしの学生も利用しています。その他はシェアハウスなどです。



自己負担している費用

ほとんどの学生が生活費を自己負担しており、生活費だけでなく学費と家賃すべてを負担している人もいます。



1日1食

2.7%

1日2食

51.4%

1日3食

45.9%

1日の食事回数

生活習慣の乱れや節約のために、半分以上の学生が1日2食以下です。

宅配たべものカフェ

利用者の声

国家試験も控えている中、バイトとの両立が必要。そもそも卒業できるかも不安。また、これからの就職・新生活に向けての出費がやや不安。

仕送りがほとんどないためアルバイトをしている。授業中に寝てしまうことがある。

実習中はアルバイト禁止で収入がないのに、実習中の交通費や本、文房具などは自費のため金銭面で不安がある。

バイトをしたり実習のレポートを書いたりすることに手一杯で時間が足りていない。

2つの国家試験を控えており勉強に邁進するためにアルバイトもやめたため、金銭面に不安を感じていました。

思ったより量が多くて嬉しかった！食費で悩んでいたのですごく助かる！

バイトが忙しいなかで学業と両立しなくてはいけないと考えるとかなり厳しい。

自炊や買い物、趣味のことをやる時間がなかなかとれずストレスを感じている。

一人暮らしだとお金がどれだけあっても足りない気がします。バイトして課題などもあってテストもあると結構大変です。



一人暮らしで毎日実習だったので、孤独を感じる人が多い。



寄付してくださった方々からのコメント

静岡県立大学 尾池和夫学長

たべものカフェの皆さんがロビーラウンジで仕分けしているのを注目しています。新米を寄付があると知り、合わせてカレーを寄付することにしました。カフェの活動を広く知ってもらえるように、今後とも広報を工夫していきたいと思っています。また、学生が何を求めているかを具体的に知りたいと思っています。



静岡県立大学学長秘書 宮原亜砂美さん



学生さんにはお手軽にすぐ食べられるものがないのかなと思いましたが、新米が収穫できたので少しですがお渡しいたしました。野菜などの食材の寄付もあったようなのでこれを機会に料理を楽しむのもいいなと思いました。また、困っている人の相談の場所にもなっているとたべものカフェ。人と人をつなぐ素敵な活動を自信をもって広げてください。微力ではございますがこれからも応援します！

静岡県立大学非常勤講師 広岡直子先生



講義の受講者から、「たべものカフェ」の存在を知りました。コロナ禍で、学生が食べることで困っているのはただただとてもつらく思いました。協力というにはあまりに微力ですが、「たべものカフェ」のように、学生自身がお互いに助け合うのはとても素晴らしいことです。

ボランティアは、自分のコミュニティがよくなっていくことで自分も幸せになれる、そのためにできることを積極的に行動し関与していくことだからです。ただ、目の前にある困難の対処だけではなく、大学という高等教育期間で学んでいる皆さんなので、根本的な日本や世界の諸問題を広い目で見つめる学習の機会もあったらさらにいいのではと思います。

静岡県立大学事務局総務室長 山本六三さん

大変だけど大切なこと

たべものカフェでは、大学の職員がやっていたら来なかった学生が来ているだろうし、メンバーでなければ話してもらえなかった課題やニーズを聞いていると思っています。



これってすごく大切なことだし、続けることは大変だけど頑張ってくれていることをうれしく思います。これが私が応援・寄付する理由で、私はたべものカフェのメンバーを応援し続けます。

静岡県立大学事務局総務室



学生のために大学が準備している災害時用備蓄食料のうち、期限が切れそうなものは毎年防災訓練時に配布しています。しかしコロナ禍においては密集を避けるために、例年と同じ方法で配付することができませんでした。配布方法を検討している時にこのプロジェクトを知りました。感染症の流行が収束しても、困窮する学生は恒常的にいます。ぜひこれからも素晴らしい取り組みとして継続していただきたいです。

緊急支援プロジェクトからのコメント

静岡県立大学経営情報学部 木村綾先生

コロナ禍において、「たべものカフェ」の継続的な運営にご尽力されている方々に深く感謝いたします。私たちは自分の困りごとや悩みを打ち明けたり、相談することが比較的苦手で、何とか自力で解決しようとしがちですが、学生同士が、それらの状況に寄り添い、分かち合い、支え合う関わりができていることを非常に心強く感じます。

『たべものカフェ』は、人や社会と「つながっている」ことを感じられる、大切な場になっていると思います。

こうした関わりが、一部の人のみのものではなく、多くの人たちとの関わりに広がっていくこと、関わりの度合いに濃淡はありつつ、多くの人がいつも気にかけてくれるものになることを願っています。

静岡県立大学国際関係学部 小針進先生

『未来の「可能性」としてのたべものカフェ』

「生活が苦しいです。親にも安易に甘えられない状況で、その日食べていくのですらままならない状況です。静岡県立大学でも迅速な対応を、強く、願います」——2020年春に実施・回答された、学生向けアンケートの自由回答欄に書いてあった一文だ。これを読んで衝撃を受けたことが、たべものカフェに少しでも関わりたいと思った動機だ。

私の場合、学生中心で運営されている現場へ少し顔を出すだけが、食材を受け取りに来る学生へ熱心に聞き取りをする運営学生の姿には、いつも頭が下がる思いがする。

コロナは平時には見えなかった問題を浮き彫りにさせた。同時に、学生たちの切実なやり取りは、コロナが生んだ未来の「可能性」のひとつのようにも感じるのだ。



静岡県立大学短期大学部 中澤秀一先生

小鹿キャンパスでは、たべものカフェを21年12月までに計9回実施し、のべ54名の方に利用してもらいました。利用者には、全員がひとり暮らしという共通点がありました。社会活動家の湯浅誠さんは、貧困とは“溜め”のない状態という概念でとらえています。家族の支えという“溜め”がないと、日々の食生活にも困ってしまう現実があることを改めて実感しました。この“溜め”には金銭的な支援だけではなく、人と人のつながりや居場所といったものも含まれます。たべものカフェは単に食料支援であるだけではなく、困ったときに支えてくれる人たちがいるんだという安心感を利用者にもたらしているのではないかと考えています。

静岡県立大学国際関係学部 津富宏先生



たべものカフェは、たべものを受け取ってもらいながら、学生同士の交流を図る取り組みです。たべものを配る取り組みは各地にあります。たべものカフェは、学生が孤立化しないよう、友だちづくりまで意図された仕組みですから、学生ボランティアセンターの学生さんが運営して下さっています。また、現在の運営資金は、多くの教職員から寄付をいただいております。2021年末からは、フードバンクふじのくにの力も借りて宅配たべものカフェも始まりました。今後は、用途指定のない寄付を受けられるようにして、緊急の現金給付をしたり、たべものをもらうかどうかに関わらず、お菓子でも食べてまったりするようなたまり場になってほしいと思います。

緊急支援プロジェクト公式LINE



←公式LINEでは津富先生が担当なさり、学生一人一人とつながり、困りごとを解決することを目指しています。学生ボランティアセンターのメンバーも先生と相談しながら返信しています。



わたしたちからの提案

たべものカフェのヒアリングで分かったこと
一人暮らし・実家暮らしに関わらず
人間関係・金銭面・精神面・身体面など
様々なことで困っている学生がいる



相談できる場所・学生の状況を
把握し、サポートする環境がほしい



キャンパスソーシャルワーカー (csw) を導入

キャンパスソーシャルワーカー (csw) とは
様々な環境の中で困っている学生の相談援助
を行う。その多くは社会福祉士や精神保健福
祉士の資格を持った専門家。

経済問題への支援、ピアサポーター支援、ハ
ラスメント予防と対策、様々な障がい学生支
援、ひきこもりがちな学生への支援、自殺予
防、関係者との協働支援、居場所の提供など
を一体として提供する。



～できること～

学生の状況を集中的に把握する
ことで履修状況や授業料納付状況
や学生生活等の学生の記録を管理
し、一貫したケアを提供するこ
ができる



困っている状況が減る！



「誰も置いていかない」環境に
近づく！

☆活動を通して考えたこと ～学生助けたいいんじゃーから～

全ての大学生が夢を見つけて夢に挑戦したり、心と体の健康を脅かされることなく暮らすことが出来る社会へ、食べ物カフェはその1歩になると感じています。

(佐藤美帆)

学生だからこそ学生に届けられる支援があります。学生目線で、ひとりひとりに寄り添うたべものカフェの支援は、今までもこれからも学生を支える存在であり続けると、強く感じています。

(久保田空)

たべものカフェは、ただ食べ物を配るのではなく、学生同士が交流する素敵な場所です。

(松浦旦周)



助けたいいんじゃーの活動として困っている学生の皆さんとお話をしたり、応援してくれるなかまや大人と出会ったりする中で、貧困の解決には人とのつながりをもつことが大切であると実感しています。

(鋤柄美奈)

私自身、たべものカフェに参加してくださった方からヒアリングした際に、参加者の方から元気をもらいました。ヒアリングという形ではありませんが、根本的にはお話なので、普段新しく人と出会うことの難しい環境の中で新鮮な気持ちになることが出来ました。

たべものカフェを入口に、誰かの日常が少しでも寂しくないものになることを願っています。

(梨田奈名子)

学生助けたいいんじゃー Twitter



☆連絡先

学生助けたいいんじゃー

Twitter: @tasuketainja

Gmail: gakusei.tasuketainja@gmail.com

☆活動を通して考えたこと ～学生ボランティアセンターから～

自分も同じ学生という立場ではありませんが、学生だからこそ悩みや困っていることを気軽に話して支え合っている場だと思います。これから多くの学生が1人で悩みを抱えることなく、お互いに助け合っていけるようにしていきたいです。

(戸塚愛琳)

我々大学生の中には、悩んでいてもどうしたらいいかわからずに悩みを抱えてしまう学生がたくさんいます。その実態を知ってもらい、より多くの人に協力をいただきたいです。少しでも学生たちが健康な大学生活を送ることができるよう、支援を続けたいです。

(中島怜子)

困っているだけでなく、些細なことでも学生同士で話し合えるような暖かい場所になってほしいと思います。これからも助けを必要としている方に、必要な支援が行き届くように努力していきたいです。

(宇佐美友菜)

周りの人に自分の困っていることをお話することはとても勇気が必要です。その悩みが貧困に関するのなら、なおさら相談することが難しいです。「話してくれてありがとう。もうひとりで抱え込まなくていいんだよ。私たちと一緒に考えよう。」というように、たべものカフェを温かい「みんなの居場所」にしていきたいです。

(松本花奈)

食べ物の配布を通して、学生の貧困の現状を知ることができました。また、たべものカフェの継続をしていくことが重要だと感じています。

学生の一つの居場所になるようなたべものカフェにしたいです。

(武井みな子)

食べ物を配るだけではなく些細な事でも話せる場所にするので、受け取りに来る学生が少しでも元気になればあとを思います。1人ではなくみんなで解決できる、そんな場所を目指しています。

これからはボラセンや助けたいんじゃーだけではなく、他の学生と一緒にできるプロジェクトにできれば良いと思います。

(柴田せいあ)

学生が気軽に訪れて、困っていることを話せる場所になってほしいと思い、活動しています。学生の声を大切にしながら支援を続けていきたいです。

(小森理加)

学生ボランティアセンター Twitter



☆連絡先

静岡県立大学学生ボランティアセンター

Twitter : @shizubora

Instagram : @shizu_bora

Gmail : pre.volunteercenter@gmail.com